理学療法

Journal of Physical Therapy

1

Vol.40 No.1

2023

特集 わが国の理学療法のこれからを展望するⅠ

- 理学療法の戦略と戦術
- 運動器疾患患者に対するこれからの理学療法を展望する
- スポーツ傷害患者に対するこれからの理学療法を展望する
- 脊髄損傷患者に対するこれからの理学療法を展望する
- 関節リウマチ患者に対するこれからの理学療法を展望する
- 切断患者に対するこれからの理学療法を展望する
- 脳血管疾患患者に対するこれからの理学療法を展望する
- 神経難病患者に対するこれからの理学療法を展望する

講座

- 知覚・認知と運動制御 8
- 疾患別理学療法における装具療法の役割 10

メディカルプレス

ISSN 0910-0059
Rigaku ryōhō

切断患者に対するこれからの理学療法を展望する

梅　澤　慎　吾*
Shingo UMEZAWA, RPT

1. 下肢切断と義肢装着という事象は，リハビリテーションの概念が浸透する以前から存在する．後発の理学療法士は，医師と義肢装具士を繋ぐ，あるいは切断患者と社会を繋ぐパイプレイヤーとしての役割を担う．
2. 切断者リハにおける理学療法士の貢献度という点で明るい材料は少ない．一方で，義足の進化は課題解決のリソースになり得る．多職種連携や医療制度が絡む切断者リハは，あらゆる動向を踏まえて問題解決を考える．
3. 解決すべきポイントは患者目線で考えれば分かる．それは必要な場合に必ず義足装着に繋がれること，また義足のリハを知る施設にアクセスできることである．そのためには，施設の可視化，ICT の利用，新たなコンセプトの義足が必要である．

はじめに

障害を抱えた者を支える目的で実践された試みは，のちに学識として体系化され，リハビリテーション（以下，リハ）という実学になった．この概念が1960年代初めに国内に持ち込まれてから60余年が経つ．下肢切断者への理学療法士の関わり方は，この期間に多くの点で変化した．しかし，この「変化」とは多くが有形な「モノ」を指しており，無形の産物であるリハはさほど変わっていない．なぜなら，リハ概念のない遠い古（いにしえ）の時代にも，切断という難局は存在した．そして，切断後には補綴物（ほてつぶつ）を充てて何らかの結論を得ていたことも事実だからである．

筆者が現職に就き，下肢切断者と義足に関わり始めたおよそ20年前，当時の現場に理学療法士は1名であった．前任者が去り，入職を希望した筆者が初訪問をしたある日，“主のいない”リハ室には，医師と義肢装具士（certified prosthetist and orthotist）が患者とともに義足歩行を練習する光景があった．それは，たとえ表面上であったとしても整然としたものに見えた．

その時，直観的に悟ったことがある．それは，理学療法士の役割はあらかじめ存在せず，自ら価値を創出しなければ居場所は用意されないということだ．これこそが実学たる所以であり，概観すれば，下肢切断者のリハは理学療法士の存在なしに恙なく進む．19世紀に切断術と義肢が進化した当時，医師は断端形成の技術向上に傾倒し，義足製作者はソケットや各種部品の質の向上に力を注いだと言われる．それぞれの持ち場で研鑽を重ねた歴史の延長線上に今がある．

では，後発の理学療法士が携える付加価値とは何だろうか．必要なのは「ヒト」と「モノ」を繋ぎ，さらに社会を繋ぐ見識である．切断術と義肢製作は無論本質的だが，理学療法士は切断者が社

*公益財団法人鉄道弘済会義肢装具サポートセンター付属診療所
（〒116-0003 東京都荒川区南千住4-3-3）

40巻2号予告

特　集「わが国の理学療法のこれからを展望するⅡ」

呼吸器疾患患者に対するこれからの理学療法を展望する
……聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部理学療法学科　有　薗　信　一

循環器疾患患者に対するこれからの理学療法を展望する
……順天堂大学保健医療学部理学療法学科　高　橋　哲　也

代謝疾患患者に対するこれからの理学療法を展望する
……順天堂大学保健医療学部理学療法学科　齊藤正和・他

小児患者に対するこれからの理学療法を展望する
……京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻　大　畑　光　司

ウイメンズヘルスケアとしてのこれからの理学療法を展望する
……名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻予防・リハビリテーション科学　井上倫恵・他

がん患者に対するこれからの理学療法を展望する
……神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター　井　上　順一朗

フレイル高齢者に対するこれからの理学療法を展望する……国立長寿医療研究センター　堤本広大・他

めまい患者に対するこれからの理学療法を展望する
……日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻　浅井友詞・他

精神・心理的問題を有する患者に対するこれからの理学療法を展望する
……神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻　仙　波　浩　幸

講　座　知覚・認知と運動制御 9……東京都健康長寿医療センター研究所　桜井良太・他

臨床評価における定量的データの収集と解釈の進め方 1
……順天堂大学保健医療学部理学療法学科　松　田　雅　弘

（誌面構成の都合上内容が一部変わることがあります．御了承下さい．）

編集顧問　高橋輝雄　中屋久長　中山彰一　林　義孝
福田　修　藤原孝之　細田多穂　柳澤　健

編集委員　浅井友詞　内　昌之　大城昌平　○木村貞治
松田雅弘　山中正紀

（五十音順．○印は編集委員長）

理学療法　40巻1号　（2023年1月28日発行）（毎月28日発行）

発　行　株式会社 メディカルプレス　代表者 熊谷忠三
〒179-0084 東京都練馬区氷川台1-12-17
電話 03-3550-6400(代)　FAX 03-3550-6260
E-mail：info@medicalpress.co.jp
URL：https://www.medicalpress.co.jp/
振替口座 00170-7-169368
印刷　(株)上野印刷所 電話 03-3636-6311(代)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると，著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい．

定価 1,980円（本体 1,800円＋税 10%）
年決め購読料 オンラインのみ 19,800円（税込み）
冊子のみ 19,800円（税，送料込み）
冊子＋オンライン 23,100円（税，送料込み）

Published by Medical Press Inc.
1-12-17 Hikawadai Nerima-ku, Tokyo

© 2023, Printed in Japan